

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岡山県		代表者名	岡山県知事伊原木隆太
担当者部署	危機管理課		連絡先電話番号	086-226-7294
担当者役職	副参事	担当者氏名	大西昌晴	連絡先E-mail
住所	700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	波平 三雄
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	防災行政無線(移動系)に係る異メーカー相互接続実証試験へのアドバイスについて、具体的な試験内容を踏まえ、必要な機能、機能確保できない場合の代替措置、今後の保守体制、再整備の対象範囲や運用における問題点について整理したところ、アドバイザーの知見によりの確かな助言をいただき、県の施策の参考となるなど、有意義な打合せを行うことができた。また、実証試験項目について、アドバイザーから試験内容を確認していただき、試験項目の追加等を行うなど、今後の運用を考慮した評価ができるよう助言をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月16日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員及び受託コンサルタント業者	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	移動無線設備の老朽化への対応、新たな技術革新への対応、異メーカー混在による無線設備の適切な維持管理とシステムの長寿命化対策、高度化する災害対策へ対応できる信頼性の高い移動体通信基盤の構築、平常時の利活用の方策など	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	移動無線を取り巻く課題や、実証実験の方法、実験の評価や考察などについてアドバイスいただくことにより、最適なシステム更新と平常時の利活用推進につながる課題の抽出	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	異メーカーの無線機器を混在したシステム構築は、標準機能は可能であっても通話品質や機能性など、県が災害対策において必要とする機能がどこまで確保できるかについては、実証実験により評価する必要がある。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ファクシミリ通信など更新後に機能確保できないことも想定されるなど、あらかじめ試験結果の予測を立てることにより、検証当日にメーカーと対策案を検討できるよう準備しておくことが有効である旨のアドバイスいただき、県が災害時に必要とする移動無線設備の機能の確保事項を整理することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	実際の評価試験結果における考察は次回とする	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	移動無線設備の異メーカー混在による設備更新範囲の絞り込みと災害時の迅速かつ的確な運用体制の確立	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

